



2026年6月25日

株主各位

会 社 名 株 式 会 社 光 貴
(コード番号 342A Fukuoka PRO Market)
代 表 者 名 代表取締役社長 齊藤 政美
問 合 せ 先 執行役員 経営企画室長 上間 圭
T E L 0 9 8 - 8 7 0 - 2 1 0 2
U R L <https://www.koki.inc/>

第33回定時株主総会招集のご通知の一部修正について

2026年6月4日に電子提供措置を開始し、同年6月11日付で送付いたしました当社第33回定時株主総会招集のご通知につきまして、記載事項の一部に誤りがございました。謹んでおわび申し上げますとともに、弊社ウェブサイトおよび福岡証券取引ウェブサイトへの掲載をもって下記のとおり訂正させていただきます。

記

【訂正箇所】訂正箇所は下線を付して表示しております。

＜「第33回定時株主総会招集のご通知」23頁（個別注記表）＞

2. 会計上の見積りに関する注記

固定資産の減損処理

(2) 識別した項目に係る重要な会計上の見積りの内容に関する情報

② 会計上の見積りに用いた主要な仮定

(訂正前)

割引前将来キャッシュ・フローの見積りにあたっては、出店エリアにおける市場環境等の影響を考慮した出店エリアごとの事業計画を基礎としており、当該事業計画の算定において使用した主要な仮定は、売上高、売上総利益率及び人件費であります。

(訂正後)

割引前将来キャッシュ・フローの見積りにあたっては、出店エリアにおける市場環境等の影響を考慮した出店エリアごとの事業計画を基礎としており、当該事業計画の作成において使用した主要な仮定は、過去の実績推移や、将来の市場動向を考慮した売上高、売上総利益率及び人件費や経費等の変動費の見積りであります。

<「第 33 回定時株主総会招集のご通知」25 頁（個別注記表）>

8. 金融商品に関する注記

(1) 金融商品の状況に関する事項

① 金融商品に対する取り組み方針

(訂正前)

当社は、資金運用については、中期経営計画に定める設備投資計画等に照らして、必要な資金を銀行等金融機関からの借入により調達しております。

(訂正後)

当社は、資金運用については安全性の高い預金等を中心としており、資金調達については中期経営計画に定める設備投資計画等に照らして、必要な資金を銀行等金融機関からの借入により調達しております。

<「第 33 回定時株主総会招集のご通知」26 頁（個別注記表）>

8. 金融商品に関する注記

(2) 金融商品の時価等に関する事項

(訂正前)

(単位：千円)

	貸借対照表計上額	時 価	差 額
① 長期貸付金	58,169	<u>54,738</u>	<u>△3,430</u>
② 敷金	147,330	105,191	△42,138
③ 長期借入金 (1 年以内返済予定を含む)	(188,371)	(172,855)	△15,515

(訂正後)

(単位：千円)

	貸借対照表計上額	時 価	差 額
① 長期貸付金	58,169	<u>53,366</u>	<u>△4,802</u>
② 敷金	147,330	105,191	△42,138
③ 長期借入金 (1年以内返済予定を含む)	(188,371)	(172,855)	△15,515

<「第33回定時株主総会招集のご通知」28頁（個別注記表）>

13. その他の注記

(1) 減損損失に係る注記

(訂正前)

当事業年度において、当社は以下の資産グループについて減損損失を計上いたしました。

主な場所	用 途	種 類	減損損失（千円）
京都府	事業用資産	ソフトウェア等	1,959

当社は、事業区分を基に、継続して収支の把握がなされるものとして、店舗の出店エリア別（都道府県別）に資産のグルーピングを行っております。

当該資産グループの営業活動から生ずる損益が継続してマイナスとなっており、固定資産に減損の兆候があるため、資産グループの帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。なお回収可能価額は使用価値により算定しております。

(訂正後)

当事業年度において、当社は以下の資産グループについて減損損失を計上いたしました。

主な場所	用 途	種 類	減損損失（千円）
京都府	事業用資産	ソフトウェア等	1,959

当社は、事業区分を基に、継続して収支の把握がなされるものとして、店舗の出店エリア別（都道府県別）に資産のグルーピングを行っております。

当該資産グループの営業活動から生ずる損益が継続してマイナスとなっており、固定資産に減損の兆候があるため、将来の回収可能性を検討した結果、資産グループの帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。なお回収可能価額は使用価値により算定しております。

＜「第 33 回定時株主総会招集のご通知」29 頁（個別注記表）＞

13. その他の注記

(2) 企業結合・事業分離に関する注記

発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

① 発生したのれんのお金

(訂正前)

63,480 千円

(訂正後)

62,720 千円

＜「第 33 回定時株主総会招集のご通知」29 頁（個別注記表）＞

13. その他の注記

(2) 企業結合・事業分離に関する注記

事業譲受日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額ならびにその内訳

(訂正前)

(単位：千円)

流動資産	—
固定資産	<u>52,026</u>
資産合計	<u>52,026</u>
流動負債	—
固定負債	<u>3,612</u>
負債合計	<u>3,612</u>

(訂正後)

(単位：千円)

流動資産	—
固定資産	<u>52,786</u>
資産合計	<u>52,786</u>
流動負債	—
固定負債	<u>3,612</u>
負債合計	<u>3,612</u>

以 上